

科学研究費助成事業 研究成果報告書

令和 3 年 8 月 24 日現在

機関番号：13501

研究種目：基盤研究(B) (一般)

研究期間：2016～2020

課題番号：16H05389

研究課題名(和文) 肺・肝以外の諸臓器における定位放射線治療の効果と安全性の評価

研究課題名(英文) Effect and safety of stereotactic radiotherapy for cancers in various organs except for lung and liver

研究代表者

大西 洋 (ONISHI, Hiroshi)

山梨大学・大学院総合研究部・教授

研究者番号：30213804

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 13,100,000円

研究成果の概要(和文)：本科研究費応募時(2015年)に保険適応外や保険適応であっても実地医療での活用が進まなかった諸がん種やがん病態に対する定位放射線治療の保険適応と実活用の拡大を目指して本研究を開始した。単施設では症例数が少ないためなかなか研究が進まなかったがん種について多施設での研究の結果、多くの新知見を得ることが出来た。研究成果の学会発表や論文により、腎がん、脊椎転移、オリゴ転移、膵癌に対する定位放射線治療の適応拡大が実現され、実地医療の現場での定位放射線治療適応の議論を深め、実際の症例数が増加した。今後、定位放射線治療のさらに適切な適応拡大と活用を目指して、さらなる研究活動や啓蒙活動が必要である。

研究成果の学術的意義や社会的意義

定位放射線治療の保険適応外とされていた諸臓器がんや特殊病態に対する定位放射線治療の治療成績を明らかにし、科学的なエビデンス度を上げることに寄与することが出来た。腎がんが2016年に、脊椎転移・オリゴメタ(少数個転移)、膵癌が2020年に、それぞれ保険適応となり、実地診療でも徐々に症例数が増加した。本研究班の成果は診療報酬改定時の医療技術評価提案書に活用された。実地医療では活用頻度の低かった手術可能1期肺がん、すりガラス様所見(GGO)を呈する肺癌、前立腺癌、肝細胞癌の定位放射線治療症例数が増加した。多診療科横断的症例検討カンファレンスにおいて、定位放射線治療の適否を判断する材料を提供できた。

研究成果の概要(英文)：We started this study in order to expand the indications of re-imbursement and roles of SRT for various cancers and disease status. By the multi-institutional studies of the SRT for cancers in that it was difficult to complete the research because one sole institution can hardly collect treated cases, we got a lot of new findings for them. According to presentations and publications of the study results, we have accomplished the initial purpose of this study that included the expansion of national medical insurance for SRT in some cancers (renal cancer, spinal metastases, oligometastases and pancreas cancer), deep discussion of a proper indication of SRT in the cancer board, and increase of SRT cases. Further studies and public awareness campaigns are mandatory for a more suitable indication and utilization of SRT.

研究分野：放射線腫瘍学

キーワード：体幹部転移放射線治療 オリゴメタスタシス 腎癌 副腎転移 リンパ節転移 膵癌 乳癌 脊椎転移

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属します。

1. 研究開始当初の背景

2004 年からは体幹部定位放射線治療が保険収載をされたが、対象臓器は悪性腫瘍としては本科研費応募時の 2015 年時点では肺癌・肝癌・前立腺癌のみであった。一方で、その他の臓器腫瘍に対しても定位放射線治療の良好な局所制御と高い安全性が生かされるべきと考えられ、脊椎・膵臓・腎臓・副腎・脊椎転移などに対しても研究レベルで応用されて有用性が論文報告されていた。我々は厚生労働省に保険適応臓器の拡大を求めるために、日本医学放射線学会の多施設研究補助金を獲得して、有志の多施設における保険適応外臓器に対する定位放射線治療の実態と治療成績について調査している。

これまでに保険適応外臓器悪性腫瘍に対する定位放射線治療については国内では症例報告程度の低レベルのエビデンスしかなく、大規模な症例データに基づく調査報告は海外も存在しない。本研究成果により保険適応外臓器悪性腫瘍に対する定位放射線治療の有効性と安全性及び適切な照射方法が確立されれば、研究・臨床の両面で国際的にも大きなインパクトとなるとともに、世界でもまれな超高齢化社会を迎える日本の医療界において低侵襲な局所根治治療法を提供することで多大な社会的貢献ができると考え、本研究を開始した。

2. 研究の目的

- (1) 前立腺・腎臓・脊椎・膵臓・副腎については、前向き第 I/II 相研究としてプロトコルを作成(すでに前立腺と腎臓については作成済み)し、全国の多施設で症例を蓄積する。これらの結果として、保険適応外臓器の悪性腫瘍に対する定位放射線治療の有効性・安全性と治療実施における技術や施設の標準的な基準を策定し、厚生労働省に保険適応を要望する。
- (2) (1)と平行して、これまで実地の判断で行われてきた様々な保険適応外臓器に対する定位放射線治療全国データを可能な限り調査し、実態と治療成績を観察研究という形で分析する。
- (3) すでに定位放射線治療の保険適応があるがん種についても、実地での適切かつ積極的な適応判断が行われるように、多施設での症例データを元に解析を加える。また、これまで積極的に行われて来なかった病態に対する定位放射線治療の文献的なレビューを行う。

3. 研究の方法

・各臓器別臨床試験：研究者の所属する施設において、それぞれの研究者の専門とする臓器または多数の症例提供が得られると考えられる臓器別に、前立腺・脊椎・腎臓・膵臓・副腎のいずれかまたは複数臓器を担当し、定位放射線治療の臨床試験を実施した。

・すでに保険適応となっているがん種についても、本研究班の膨大な定位放射線治療のデータベースを元に、従来の単施設では症例数が少なく解析の困難だった視点で分析を加えた。

4. 研究成果

定位放射線治療を実施している国内主要 20 施設が本研究班に参加し、多数の前向き・後ろ向き研究を実施した。国内外の学会で発表や論文化を行った。

- (1) 原発性腎がんに対する定位放射線治療の多施設前向き第 II 相臨床試験 (UMIN00004172)：本研究費獲得以前から実施していた当該試験を本研究班で継続した。合計で 35 症例を登録し、現在は指定された経過観察期間中である。(大西 洋)
- (2) 小野薬品との共同研究で開始された転移性腎がんに対するニボルマブと定位照射の相乗効果の有無を検証する無作為比較試験(NIVOIGERCC: jRCTs031180024)を継続した。現在も症例登録中である。(大西 洋)
- (3) 山梨大学における原発性腎がんの定位放射線治療成績を検討した。平均 4 年の経過観察期間中、13 症例全

てが無増悪であり、腫瘍の縮小速度は非常に緩徐かつ持続性のものが多かった。(大西 洋)(Funayama S, Onishi H, et al. Technol Cancer Res Treat 2019;18:1533033818822329.)

- (4) 肝細胞癌の定位放射線治療において、肝動脈化学塞栓療法(TACE)の併用の有無の後ろ向き研究を行った。局所制御率、生存率、有害事象とも、TACE 併用の有無で有意差は認められなかった。(木村智樹) (Kimura T, et al. Technol Cancer Res Treat 2018 Jan 1;17:1533033818783450.)
- (5) 43 症例のⅠ期小細胞肺癌の定位放射線治療成績をまとめた。2 年局所制御率は 80%であったが領域リンパ節転移や遠隔転移が多く無増悪生存率は低かった。化学療法の併用が重要と考えられた。(塩山善之) (Shioyama Y, Onishi H, et al. Technol Cancer Res Treat 2018;17:1533033818783904.)
- (6) Ⅰ期非小細胞肺癌の定位放射線治療の後ろ向き研究において、登録症例数は 2500 を超え、様々な分析を行った。特に重要な発表として、手術症例群にほぼ相当すると考えられる 75 歳以下で全身状態良好な組織確定された症例群 252 例の予後を分析したところ、5 年生存率が 78.9%と報告されている手術成績にほぼ匹敵するものであった(世界肺癌学会で報告、現在論文作成中)。(大西 洋)
- (7) 保険外臓器に対する観察研究: 77 症例(リンパ節 17 例、副腎 13 例、骨(非脊椎): 9 例、膵臓 8 例、前立腺 6 例、腎臓 4 例、脊椎 4 例、その他 14 例)の登録があった。2 例の Grade5 を含む Grade3 以上の 2 年晩期有害事象発生割合が 6.5%で、特に消化管障害が目立って多く見られ、消化管の線量制約の見直しが必要と考えられた。(小宮山貴史) 2021 年日本放射線腫瘍学会発表予定
- (8) 肺オリゴ(少数個)転移に対する定位放射線治療のシステマティックレビューとメタ分析を行った。大腸癌からの肺転移は他癌からの肺転移より定位照射後の局所制御率が悪かったが、線量を増加させると局所制御が向上していた。(神宮啓一) (Jingu K, et al. Technol Cancer Res Treat 2018;17:1533033818794936.)
- (9) 肺癌に対する定位放射線治療後の局所再発または領域リンパ節再発に対する救済的再定位照射についてのシステマティックレビュー: 比較的安全に実施されているが、適正な適応選択と線量処方や線量制約やについては大規模研究が必要である。(松尾幸恵) (Matsuo Y, et al. Technol Cancer Res Treat 2018 Jan 1;17:1533033818798633.)
- (10) 乳がんに対する非切除根治的放射線治療(全乳房照射後の定位放射線治療による局所ブースト治療)の後ろ向き研究。8 症例が登録され、良好な局所制御と生存率が得られた。(芝本雄太) (Shibamoto Y, et al. Technol Cancer Res Treat 2018;17:1533033818799355.)
- (11) 諸がん種に対する定位放射線治療の現状について概観したものを論文化した。(芝本雄太、大西 洋) (Shibamoto Y, Onishi H. Technol Cancer Res Treat 2018 Jan 1;17:1533033818800497.)
- (12) リンパ節転移に対する定位放射線治療の文献レビュー: 様々な原発癌からのリンパ節転移に対する定位放射線治療の論文をレビューした。適切な病態選択のためにさらなる臨床研究が必要である。(松下春雄) (Matsushita H, et al. Technol Cancer Res Treat 2018 Jan 1;17:1533033818803597.)
- (13) 脊椎転移に対する定位放射線治療: 131 人 134 部位の脊椎転移に対する定位放射線治療成績の後ろ向き研究。1 年局所制御率 72.3%、1 年疼痛緩和率 79.5%であったが、大腸癌からの転移では効果不良であった。(伊藤慶) (Ito K, et al. Karasawa K, et al. Technol Cancer Res Treat 2018;17:1533033818806472.)
- (14) 肺癌定位放射線治療後の局所再発後の胸腔鏡下手術(VATS)の安全性や有効性の評価: 肺癌定位放射線治療後の局所再発に対して VATS を施行された 8 症例の後ろ向き研究。初回手術としての VATS よりやや安全性は劣るが救済治療として考慮されて良いとの結論。手術可能症例の初回治療として定位放射線治療の妥当性を支援する結果と考える。(小久保雅樹)(KokuboM, et al. Technol Cancer Res Treat 2018 Jan 1;17:1533033818807431.)
- (15) 副腎転移に対する定位放射線治療: 12 人 13 部位の後ろ向き研究。Real-time tumor tracking system を用いた場合は局所制御良好(1 年で 100%)であったが、他の照射装置では良好とは言えなかった(1 年後

50%)が、両者の間に生存率の有意差は認められなかった。(加藤徳男 X Katoh N, Onishi H, et al. Technol Cancer Res Treat 2018;17:1533033818809983.)

- (16) 肺すりガラス上結節 (GGO) 所見を呈する肺癌に対する定位放射線治療: GGO 所見を呈する肺癌 (組織未確定を含む) 84 症例に対する定位放射線治療の後ろ向き研究。中間観察期間 33 ヶ月で、局所制御率は 100% で、手術可能か否かによらず、無再発生存率は非常に両行であった (大西洋) (Onishi H, et al. Journal of Radiation Research 2020; 61: 426-430)
- (17) 骨転移を伴ったホルモン感受性前立腺癌に対する定位放射線治療を含めた放射線治療の有効性を評価した。JROSG 泌尿器腫瘍グループ、大西班の共同研究として、日本放射線腫瘍学会の許可を得て、放射線治療専門医 1013 名にアンケートを 2017 年 12 月 12 日に送付した。2018 年 1 月 9 日締め切りにて 373 名 (36.8%) より回答を得た。「骨転移を有する前立腺癌に、生命予後の改善を期待して放射線治療を実施したことはあるか?」との設問に対して、67.6%が「ある」と回答した。「造骨性骨転移を認め、骨転移以外に転移なく、ホルモン療法に感受性のある 60 才台の前立腺癌患者に対して、保険的な縛りはなく、理想的な治療が実施できるものと仮定してどのような治療を行うか」との設問に対して、骨転移が一箇所の場合には、55%、骨転移が 3 箇所の場合には 24%が、前立腺および転移部位に対して放射線治療を行うと回答した。(中村和正) (Nakamura K, et al. Jpn J Clin Oncol 2020;50(10):1188-1194.)
- (18) 腎癌に対する定位放射線治療の有効性、免疫療法との併用での安全性等を評価した。腎癌骨転移等に対する放射線治療で、免疫療法が併用されている場合には著明に縮小する場合があります。併用療法の有効性が示唆された。腎癌に対する定位放射線治療 (原発巣、転移巣) の現状を文献的に考察した。欧米においては腎癌原発巣に対しても定位放射線治療が行われており、それらの結果をシンポジウム、総説として発表した。(中村和正) (中村和正. 「腎腫瘍の放射線治療」シンポジウム 5. 泌尿器科腫瘍に対する放射線治療の新たな試み. 第 80 回日本医学放射線学会総会 横浜. 2021.4.17.)
- (19) 様々な悪性腫瘍原発のオリゴ転移に対する定位放射線治療の臨床結果を後ろ向きにまとめた。40 人の切除不能オリゴ転移を持つ 40 症例に定位放射線治療を実施した。経過観察期間中央値は 14 ヶ月で局所再発は 1 例も見られなかった。40 症例中 20 症例で経過観察中に遠隔部位に転移が見られた。2 年目の全生存率は 45.1%で、3 年目は 36.1%だった。生存に有意に影響する因子は診断からオリゴ転移検出までの期間 (2 年未満対 2 年以上) と原発腫瘍の位置 (食道対その他) であった。グレード 3 の亜急性期の副作用が 1 例に、グレード 4 の晩期副作用が 2 例に見られた。(山下英臣) Yamashita H, et al. Mol Clin Oncol. 2020;13(2):109-114.
- (20) 保険適応外の 5cm 以上の原発性肝癌 8 症例に対して行われた体幹部定位放射線治療の診療情報を収集・集計し、その有効性・安全性を評価した。経過観察期間中央値: 24 カ月, 1/2/3 年全生存率: 91/61/61%, 生存期間中央値 45 カ月. 原病死 5 例(7/15/17/18/54M), 他病死 1 例(46M), SBRT 関連肝不全死の報告なし (1 例のみ一過性の CPS 2 ポイント上昇). 局所再発を 8 例に認め, 1/2/3 年局所無増悪率: 82/72/57%. 中央値 15 カ月で 8 例に肝内新病巣が出現, 1/2/3 年新病巣非出現率: 73/31/31%, 1/2/3 年無増悪生存率: 64/32/32%であった。SBRT は小型 HCC と同様に有用な局所療法の選択肢になりうると考えられた。放射線治療計画では肝照射容積, 特にスピアされる残肝容積に細心の注意を払うことが必要である。長期的な制御率は満足すべきものではなく, 至適な線量分割や, 併用療法・後治療, 粒子線治療との対比が今後の検討課題になる。(馬屋原 博)
- (21) 定位放射線治療の実施の拡大をめざすにあたり、各施設で実際にどのような骨転移の患者に具体的にどのような治療がなされているか把握することが重要である。骨転移に対する放射線治療のリアルワールドでの治療実態を調査するため、厚生労働科学研究費補助金補助金 (がん政策研究事業) 茂松班の研究として、骨転移の放射線治療について前向き観察研究を実施し、大西班施設からも参加し

た。2021年3月末日までに232例の登録がなされた。現在追跡調査を実施している。(原田英幸)

- (22) 定位放射線治療計画を支援する画像解析技術の開発：深層学習モデルである U-Net を用いて子宮頸がんの肉眼的腫瘍体積 (GTV) の自動抽出を行い、その精度を評価した。IB~IVA 期子宮頸がん 98 例を対象とし、MRI 拡散強調像 (b 値=800-1000 mm²/s) を、学習画像とテスト画像の 2 つに分類後、学習画像とテスト画像を入れ替えることで全 98 例の学習と予測を行った。2D U-Net と 3D U-Net の両方に合計 3 種類の学習モデルを適用することで症例あたり 6 つの予測画像を取得した。ここで得られた 6 つの予測画像に重み付けを行い、各画素で合計して閾値処理を行った。この処理で得られた画像を最終的な出力画像とし、ダイス係数を用いて教師データと比較した。深層学習により抽出した子宮頸がんの GTV と教師データのダイス係数は 0.13~0.93(平均値 0.77、中央値 0.83)であった。ダイス係数が 0.65 未満の症例には腫瘍の最大直径が 40mm 以下の症例や子宮留血腫を合併した症例、壊死のため腫瘍内濃度が不均一な症例が含まれていた。(生島仁史)(Sasaki M, Ikushima H. Japanese Journal of Radiology 2020 ; 38 : 1099-1107.)
- (23) I 期非小細胞肺癌に対する 10 年間の経験をまとめた。(小岩井慶一郎)(Koiwai K, et al. Technol Cancer Res Treat 2020;19:1533033820979163.)
- (24) 前立腺癌に対する定位照射法の確立に向けて、国内での多施設臨床試験を実施するためにアンケートによる現状調査を JROSG 事業として開始した。(石川仁)
- (25) 実時間 MR ガイド下の膀胱癌に対する定位放射線治療の国際多施設共同研究の進捗状況を研究班で共有した。(稲葉浩二、伊丹純)
- (26) 限局性前立腺癌に対する根治的前立腺全摘術後の臨床的局所再発に対して、前立腺床の放射線治療後に局所再発巣に定位放射線治療を追加することの安全性を評価する前向き臨床試験を開始した。(根本建二、佐藤啓)
- (27) 子宮頸がんに対する根治的放射線治療の研究計画を議論した。(宇野隆)
- (28) 胆管癌に対する根治的放射線治療の研究計画を議論した。(鈴木修)
- (29) Pacific レジメにて、III 期肺癌に対する化学放射線療法後の残存腫瘍に対する定位放射線治療追加の有用性評価の研究提案を行った。(斉藤アンネ優子)
- (30) 本研究班の最終的な目標達成度

科研費応募時点(2015年)には定位放射線治療の保険(診療報酬)適応外とされていた、腎がんが2016年に、脊椎転移・オリゴメタ(少数個転移)、膀胱癌が2020年に、それぞれ保険適応となり、実地診療でも徐々に症例数が増加した。本研究班の成果は診療報酬改定時の医療技術評価提案書に活用された。

科研費応募時点(2015年)に定位放射線治療の保険(診療報酬)適応とされていたものの、実地医療では活用頻度の低かった手術可能 I 期肺癌、すりガラス様所見(GGO)を呈する肺癌、前立腺癌、肝細胞癌の定位放射線治療症例数が増加した。

定位放射線治療における多診療科横断的症例検討カンファレンス(カンサーボード)において、定位放射線治療の適否を判断する材料を提供できた。

(31) まとめ

本研究班の活動とその成果(学会発表や論文)により、定位放射線治療の適応拡大が実現され、実地医療の現場での定位放射線治療適応の議論を深め、実際の症例数が増加したことで、当初の目的をある程度達成することができた。今後、定位放射線治療のさらに適切な適応拡大と活用を目指して、さらなる研究活動や啓蒙活動が必要である。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計92件（うち査読付論文 80件 / うち国際共著 17件 / うちオープンアクセス 41件）

1. 著者名 岡本 裕之、伊丹 純、逆井 達也、西岡 史絵、三浦 悠記、相川 亜子、桑原 潤一、飯島 康太郎、阿部 容久、井垣 浩	4. 巻 38
2. 論文標題 MR画像誘導放射線治療におけるOn-line Adaptive Radiotherapy	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 医学物理	6. 最初と最後の頁 159 ~ 165
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11323/jjmp.38.4_159	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 Matsuo Yukinori	4. 巻 11
2. 論文標題 Sarcopenia is a potential factor for optimized treatment selection for elderly patients with early stage non-small cell lung cancer	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Thoracic Disease	6. 最初と最後の頁 S443 ~ S445
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.21037/jtd.2018.11.44	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -
1. 著者名 Uchinami Yusuke, Suzuki Ryusuke, Katoh Norio, Taguchi Hiroshi, Yasuda Koichi, Miyamoto Naoki, Ito Yoichi M., Shimizu Shinichi, Shirato Hiroki	4. 巻 20
2. 論文標題 Impact of organ motion on volumetric and dosimetric parameters in stomach lymphomas treated with intensity modulated radiotherapy	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Applied Clinical Medical Physics	6. 最初と最後の頁 78 ~ 86
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/acm2.12681	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -
1. 著者名 Miyamoto Naoki, Maeda Kenichiro, Abo Daisuke, Morita Ryo, Takao Seishin, Matsuura Taeko, Katoh Norio, Umegaki Kikuo, Shimizu Shinichi, Shirato Hiroki	4. 巻 65
2. 論文標題 Quantitative evaluation of image recognition performance of fiducial markers in real-time tumor-tracking radiation therapy	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Physica Medica	6. 最初と最後の頁 33 ~ 39
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ejmp.2019.08.004	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Morita Ryo, Abo Daisuke, Sakuhara Yusuke, Soyama Takeshi, Katoh Norio, Miyamoto Naoki, Uchinami Yuusuke, Shimizu Shinichi, Shirato Hiroki, Kudo Kohsuke	4. 巻 29
2. 論文標題 Percutaneous insertion of hepatic fiducial true-spherical markers for real-time adaptive radiotherapy	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Minimally Invasive Therapy & Allied Technologies	6. 最初と最後の頁 334 ~ 343
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/13645706.2019.1663217	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Goto H, Shimauchi T, Fukuchi K, Yokota N, Koizumi S, Aoshima M, Endo Y, Masuda Y, Miyazawa H, Kasuya A, Nakamura K, Ito T, Tokura Y	4. 巻 99
2. 論文標題 Therapeutic Effectiveness of Immunoradiotherapy on Brain-metastatic BRAF/MEK Inhibitor-resistant Melanoma with Balloon Cell Change	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Acta Dermato Venereologica	6. 最初と最後の頁 612 ~ 613
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2340/00015555-3134	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yamashita Hideomi	4. 巻 11
2. 論文標題 Editorial on comparison between stereotactic body radiotherapy and surgery in early stage NCSLC by Scotti et al.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Thoracic Disease	6. 最初と最後の頁 S275 ~ S279
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.21037/jtd.2019.01.79	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Furutani Shunsuke, Ikushima Hitoshi, Sasaki Motoharu, Tonoiso Chisato, Takahashi Ayaka, Kubo Akiko, Kawanaka Takashi, Harada Masafumi	4. 巻 60
2. 論文標題 Clinical outcomes of hypofractionated image-guided multifocal irradiation using volumetric-modulated arc therapy for brain metastases	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Radiation Research	6. 最初と最後の頁 134 ~ 141
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/jrr/rry091	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Tonoiso Chisato, Ikushima Hitoshi, Kubo Akiko, Kawanaka Takashi, Funatani Shunsuke, Kudo Takaharu, Yoshida Takahiro, Miyamoto Hiroshi, Harada Masafumi, Takayama Tetsuji, Tangoku Akira	4. 巻 66
2. 論文標題 Clinical outcomes and prognostic factors of definitive radiotherapy for esophageal cancer	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 The Journal of Medical Investigation	6. 最初と最後の頁 99 ~ 105
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2152/jmi.66.99	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Matsuo Yukinori	4. 巻 7
2. 論文標題 A promising result of locoregional tumor control with biologically adaptive radiotherapy in patients with locally advanced non-small cell lung cancer	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Translational Lung Cancer Research	6. 最初と最後の頁 S111 ~ S113
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.21037/tlcr.2018.03.01	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Matsuo Yukinori	4. 巻 17
2. 論文標題 A Systematic Literature Review on Salvage Radiotherapy for Local or Regional Recurrence After Previous Stereotactic Body Radiotherapy for Lung Cancer	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Technology in Cancer Research & Treatment	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1177/1533033818798633	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Okamoto Hiroyuki, Nishioka Shie, Iijima Kotaro, Nakamura Satoshi, Sakasai Tatsuya, Miura Yuki, Takemori Mihiro, Nakayama Hiroki, Morishita Yuichiro, Shimizu Morihito, Abe Yoshihisa, Igaki Hiroshi, Nakayama Yuko, Itami Jun	4. 巻 60
2. 論文標題 Monte Carlo modeling of a ⁶⁰ Co MRI-guided radiotherapy system on Geant4 and experimental verification of dose calculation under a magnetic field of 0.35 T	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Radiation Research	6. 最初と最後の頁 116 ~ 123
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/jrr/rry087	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nakano Ryosuke, Ohira Masahiro, Kobayashi Tsuyoshi, Ide Kentaro, Tahara Hiroyuki, Kuroda Shintaro, Shimizu Seiichi, Kimura Tomoki, Nagata Yasushi, Aikata Hiroshi, Chayama Kazuaki, Ohdan Hideki	4. 巻 164
2. 論文標題 Hepatectomy versus stereotactic body radiotherapy for primary early hepatocellular carcinoma: A propensity-matched analysis in a single institution	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Surgery	6. 最初と最後の頁 219 ~ 226
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.surg.2018.03.006	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nagata Yasushi, Kimura Tomoki	4. 巻 48
2. 論文標題 Stereotactic body radiotherapy (SBRT) for Stage I lung cancer	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Japanese Journal of Clinical Oncology	6. 最初と最後の頁 405 ~ 409
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/jjco/hyy034	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kimura Tomoki, Aikata Hiroshi, Doi Yoshiko, Imano Nobuki, Takeuchi Yuki, Takahashi Ippei, Nishibuchi Ikuno, Katsuta Tsuyoshi, Kenjo Masahiro, Murakami Yuji, Awai Kazuo, Chayama Kazuaki, Nagata Yasushi	4. 巻 17
2. 論文標題 Comparison of Stereotactic Body Radiation Therapy Combined With or Without Transcatheter Arterial Chemoembolization for Patients With Small Hepatocellular Carcinoma Ineligible for Resection or Ablation Therapies	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Technology in Cancer Research & Treatment	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1177/1533033818783450	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kawahara Daisuke, Ozawa Shuichi, Nakashima Takeo, Tsuda Shintaro, Ochi Yusuke, Okumura Takuro, Masuda Hirokazu, Hioki Kazunari, Suzuki Tathuhiko, Ohno Yoshimi, Kimura Tomoki, Murakami Yuji, Nagata Yasushi	4. 巻 23
2. 論文標題 Interfractional diaphragm changes during breath-holding in stereotactic body radiotherapy for liver cancer	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Reports of Practical Oncology & Radiotherapy	6. 最初と最後の頁 84 ~ 90
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.rpor.2018.01.007	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kubo Katsumaro, Kimura Tomoki, Aikata Hiroshi, Takahashi Shigeo, Takeuchi Yuki, Takahashi Ippei, Nishibuchi Ikuno, Murakami Yuji, Chayama Kazuaki, Nagata Yasushi	4. 巻 48
2. 論文標題 Long-term outcome of stereotactic body radiotherapy for patients with small hepatocellular carcinoma	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Hepatology Research	6. 最初と最後の頁 701 ~ 707
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/hepr.13063	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Shibamoto Yuta, Murai Taro, Suzuki Kazushi, Hashizume Chisa, Ohta Kengo, Yamada Yuki, Niwa Masanari, Torii Akira, Shimohira Masashi	4. 巻 17
2. 論文標題 Definitive Radiotherapy With SBRT or IMRT Boost for Breast Cancer: Excellent Local Control and Cosmetic Outcome	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Technology in Cancer Research & Treatment	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1177/1533033818799355	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Matsushita Haruo, Jingu Keiichi, Umezawa Rei, Yamamoto Takaya, Ishikawa Yojiro, Takahashi Noriyoshi, Katagiri Yu, Kadoya Noriyuki	4. 巻 17
2. 論文標題 Stereotactic Radiotherapy for Oligometastases in Lymph Nodes?A Review	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Technology in Cancer Research & Treatment	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1177/1533033818803597	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hamakawa Hiroshi, Takahashi Yutaka, Sakanoue Ichiro, Saito Tomoki, Date Naoki, Tomii Keisuke, Katakami Nobuyuki, Imagunbai Toshiyuki, Kokubo Masaki	4. 巻 17
2. 論文標題 Salvage Pulmonary Operations Following Stereotactic Body Radiotherapy for Small Primary and Metastatic Lung Tumors: Evaluation of the Operative Procedures	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Technology in Cancer Research & Treatment	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1177/1533033818807431	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Onishi Hiroshi, Marino Kan, Yamashita Hideomi, Terahara Atsuro, Onimaru Rikiya, Kokubo Masaki, Shioyama Yoshiyuki, Kozuka Takuyo, Matsuo Yukinori, Aruga Takashi, Hiraoka Masahiro	4. 巻 17
2. 論文標題 Case Series of 23 Patients Who Developed Fatal Radiation Pneumonitis After Stereotactic Body Radiotherapy for Lung Cancer	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Technology in Cancer Research & Treatment	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1177/1533033818801323	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Onishi Hiroshi, Yamashita Hideomi, Shioyama Yoshiyuki, Matsumoto Yasuo, Takayama Kenji, Matsuo Yukinori, Miyakawa Akifumi, Matsushita Haruo, Aoki Masahiko, Nihei Keiji, Kimura Tomoki, Ishiyama Hiromichi, Murakami Naoya, Nakata Kensei, Takeda Atsuya, Uno Takashi, Nomiya Takuma, Takanaka Tuyoshi, et al.	4. 巻 10
2. 論文標題 Stereotactic Body Radiation Therapy for Patients with Pulmonary Interstitial Change: High Incidence of Fatal Radiation Pneumonitis in a Retrospective Multi-Institutional Study	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Cancers	6. 最初と最後の頁 257 ~ 257
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/cancers10080257	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Inoue Tetsuya, Katoh Norio, Ito Yoichi M, Kimura Tomoki, Nagata Yasushi, Kuriyama Kengo, Onishi Hiroshi, Yoshitake Tadamasu, Shioyama Yoshiyuki, Iizuka Yusuke, Inaba Koji, Konishi Koji, Kokubo Masaki, Karasawa Katsuyuki, Kozuka Takuyo, Tanaka Kensuke, Sakakibara-Konishi Jun, Kinoshita Ichiro, Shirato Hiroki	4. 巻 122
2. 論文標題 Stereotactic body radiotherapy to treat small lung lesions clinically diagnosed as primary lung cancer by radiological examination: A prospective observational study	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Lung Cancer	6. 最初と最後の頁 107 ~ 112
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.lungcan.2018.05.025	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Onimaru Rikiya, Onishi Hiroshi, Ogawa Gakuto, Hiraoka Masahiro, Ishikura Satoshi, Karasawa Katsuyuki, Matsuo Yukinori, Kokubo Masaki, Shioyama Yoshiyuki, Matsushita Haruo, Ito Yoshinori, Shirato Hiroki	4. 巻 48
2. 論文標題 Final report of survival and late toxicities in the Phase I study of stereotactic body radiation therapy for peripheral T2N0M0 non-small cell lung cancer (JCOG0702)	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Japanese Journal of Clinical Oncology	6. 最初と最後の頁 1076 ~ 1082
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/jjco/hyy141	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Katoh Norio, Onishi Hiroshi, Uchinami Yusuke, Inoue Tetsuya, Kuriyama Kengo, Nishioka Kentaro, Shimizu Shinichi, Komiyama Takafumi, Miyamoto Naoki, Shirato Hiroki	4. 巻 17
2. 論文標題 Real-Time Tumor-Tracking Radiotherapy and General Stereotactic Body Radiotherapy for Adrenal Metastasis in Patients With Oligometastasis	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Technology in Cancer Research & Treatment	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1177/1533033818809983	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Matsushita Yuto, Nakamura Katsumasa, Furuse Hiroshi, Ichinohe Kenji, Miyake Hideaki	4. 巻 8
2. 論文標題 Marked response to nivolumab combined with external radiation therapy for metastatic renal cell carcinoma: report of two cases	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 International Cancer Conference Journal	6. 最初と最後の頁 29 ~ 32
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s13691-018-0349-7	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Komatsu Tetsuya, Konishi Kenta, Aoshima Masahiro, Tokura Yoshiki, Nakamura Katsumasa	4. 巻 36
2. 論文標題 Combined radiotherapy with nivolumab for extracranial metastatic malignant melanoma	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Japanese Journal of Radiology	6. 最初と最後の頁 712 ~ 718
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11604-018-0774-8	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yamamoto Takaya, Niibe Yuzuru, Matsumoto Yasuo, Onishi Hiroshi, Aoki Masahiko, Nishikawa Atsushi, Oh Ryoong-Jin, Shintani Takashi, Yahara Katsuya, Ozaki Masatoki, Manabe Yoshihiko, Jingu Keiichi	4. 巻 61
2. 論文標題 Analyses of local control and survival after stereotactic body radiotherapy for pulmonary oligometastases from colorectal adenocarcinoma	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of Radiation Research	6. 最初と最後の頁 935 ~ 944
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/jrr/rraa071	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yamamoto Takaya, Niibe Yuzuru, Aoki Masahiko, Shintani Takashi, Yamada Kazunari, Kobayashi Mitsuru, Yamashita Hideomi, Ozaki Masatoki, Manabe Yoshihiko, Onishi Hiroshi, Yahara Katsuya, Nishikawa Atsushi, Katsui Kuniaki, Oh Ryoong-Jin, Terahara Atsuro, Jingu Keiichi	4. 巻 20
2. 論文標題 Analyses of the local control of pulmonary Oligometastases after stereotactic body radiotherapy and the impact of local control on survival	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 BMC Cancer	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12885-020-07514-9	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yamamoto Takaya, Niibe Yuzuru, Matsumoto Yasuo, Aoki Masahiko, Oh Ryoong Jin, Ozaki Masatoki, Kobayashi Mitsuru, Manabe Yoshihiko, Shintani Takashi, Dekura Yasuhiro, Onishi Hiroshi, Yamashita Hideomi, Jingu Keiichi	4. 巻 9
2. 論文標題 Factors related to primary cancer death and non primary cancer death in patients treated with stereotactic body radiotherapy for pulmonary oligometastases	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Cancer Medicine	6. 最初と最後の頁 8902 ~ 8911
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/cam4.3508	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Komiyama Takafumi, Saito Masahide, Kuriyama Kengo, Marino Kan, Aoki Shinichi, Saito Ryo, Muramatsu Juria, Maehata Yoshiyasu, Ze Chen, Akita Tomoko, Yamada Takashi, Sano Naoki, Yoshizawa Kazuya, Kazunari Ashizawa, Hidekazu Suzuki, Ueda Koji, Vu Nam, Onishi Hiroshi	4. 巻 19
2. 論文標題 Dose Prescription Methods in Stereotactic Body Radiotherapy for Small Peripheral Lung Tumors: Approaches Based on the Gross Tumor Volume Are Superior to Prescribing a Dose That Covers 95% of the Planning Target Volume	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Technology in Cancer Research & Treatment	6. 最初と最後の頁 403-403
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1177/1533033820974030	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Vu Nam, Onishi Hiroshi, Saito Masahide, Kuriyama Kengo, Komiyama Takafumi, Marino Kan, Araya Masayuki, Aoki Shinichi, Saito Ryo, Nonaka Hotaka, Funayama Satoshi, Watanabe Hiroaki, Sano Naoki	4. 巻 61
2. 論文標題 Tumor volume shrinkage during stereotactic body radiotherapy is related to better prognoses in patients with stage I non-small-cell lung cancer	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of Radiation Research	6. 最初と最後の頁 740 ~ 746
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/jrr/rraa040	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Onishi Hiroshi, Shioyama Yoshiyuki, Matsumoto Yasuo, Shibamoto Yuta, Miyakawa Akifumi, Suzuki Gen, Nishimura Yasumasa, Sasaki Ryohei, Miyawaki Daisuke, Kuriyama Kengo, Komiyama Takafumi, Marino Kan, Aoki Shinichi, Saito Ryo, Araya Masayuki, Maehata Yoshiyasu, Nonaka Hotaka, Tominaga Licht, Saito Masahide, et al.	4. 巻 61
2. 論文標題 Stereotactic body radiotherapy in patients with lung tumors composed of mainly ground-glass opacity	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of Radiation Research	6. 最初と最後の頁 426 ~ 430
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/jrr/rraa015	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Haseai Shu, Arimura Hidetaka, Asai Kaori, Yoshitake Tadamasu, Shioyama Yoshiyuki	4. 巻 13
2. 論文標題 Similar-cases-based planning approaches with beam angle optimizations using water equivalent path length for lung stereotactic body radiation therapy	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Radiological Physics and Technology	6. 最初と最後の頁 119 ~ 127
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s12194-020-00558-3	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Hirose Taka aki, Arimura Hidetaka, Fukunaga Jun ichi, Ohga Saiji, Yoshitake Tadamasu, Shioyama Yoshiyuki	4. 巻 21
2. 論文標題 Observer uncertainties of soft tissue based patient positioning in IGRT	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of Applied Clinical Medical Physics	6. 最初と最後の頁 73 ~ 81
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/acm2.12817	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Hirose Taka-aki, Arimura Hidetaka, Ninomiya Kenta, Yoshitake Tadamasu, Fukunaga Jun-ichi, Shioyama Yoshiyuki	4. 巻 10
2. 論文標題 Radiomic prediction of radiation pneumonitis on pretreatment planning computed tomography images prior to lung cancer stereotactic body radiation therapy	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-020-77552-7	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Ieiri Kosuke, Shiota Masaki, Kashiwagi Eiji, Takeuchi Ario, Takahashi Ryosuke, Inokuchi Junichi, Iwai Hidenori, Shiga Ken-ichiro, Yokomizo Akira, Yoshitake Tamamasa, Shioyama Yoshiyuki, Ishigami Kousei, Terashima Hiromi, Eto Masatoshi	4. 巻 38
2. 論文標題 The prognosis and the impact of radiotherapy in clinically regional lymph node-positive prostate cancer: Which patients are candidates for local therapy with radiation?	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Urologic Oncology: Seminars and Original Investigations	6. 最初と最後の頁 931.e1 ~ 931.e7
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.urolonc.2020.08.018	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Cui Yunhao, Arimura Hidetaka, Nakano Risa, Yoshitake Tamamasa, Shioyama Yoshiyuki, Yabuuchi Hidetake	4. 巻 62
2. 論文標題 Automated approach for segmenting gross tumor volumes for lung cancer stereotactic body radiation therapy using CT-based dense V-networks	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of Radiation Research	6. 最初と最後の頁 346 ~ 355
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/jrr/rraa132	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 KAWAGUCHI HIROKI, DEMIZU YUSUKE, MUKUMOTO NARITOSHI, ISHIHARA TAKEAKI, MIYAWAKI DAISUKE, KOMATSU SHOHEI, AKASAKA HIROAKI, SHINOTO MAKOTO, SHIOYAMA YOSHIYUKI, NAKAMURA KATSUMASA, FUKUMOTO TAKUMI, SASAKI RYOHEI	4. 巻 41
2. 論文標題 Efficacy of Spacers in Radiation Therapy for Locally Advanced Pancreatic Cancer: A Planning Study	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Anticancer Research	6. 最初と最後の頁 503 ~ 508
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.21873/anticancer.14801	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kim Nalee, Cheng Jason, Jung Inkyung, Liang Ja Der, Shih Yu Lueng, Huang Wen-Yen, Kimura Tomoki, Lee Victor H.F., Zeng Zhao Chong, Zhenggan Ren, Kay Chul Seung, Heo Seok Jae, Won Jong Yoon, Seong Jinsil	4. 巻 73
2. 論文標題 Corrigendum to: "Stereotactic body radiation therapy vs. radiofrequency ablation in Asian patients with hepatocellular carcinoma" [J Hepatol (2020) 121-129]	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of Hepatology	6. 最初と最後の頁 1295 ~ 1296
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jhep.2020.08.029	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Kimura Tomoki, Doi Yoshiko, Takahashi Sigeo, Kubo Katsumaro, Imano Nobuki, Takeuchi Yuki, Takahashi Ippei, Nishibuchi Ikuno, Murakami Yuji, Kenjo Masahiro, Nagata Yasushi	4. 巻 14
2. 論文標題 An overview of stereotactic body radiation therapy for hepatocellular carcinoma	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Expert Review of Gastroenterology & Hepatology	6. 最初と最後の頁 271 ~ 279
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/17474124.2020.1744434	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Rim Chai Hong, Cheng Jason, Huang Wen-Yen, Kimura Tomoki, Lee Victor, Zeng Zhao-Chong, Seong Jinsil	4. 巻 148
2. 論文標題 An evaluation of hepatocellular carcinoma practice guidelines from a radiation oncology perspective	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Radiotherapy and Oncology	6. 最初と最後の頁 73 ~ 81
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.radonc.2020.03.027	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Kimura Tomoki, Takeda Atsuya, Tsurugai Yuichiro, Kawano Reo, Doi Yoshiko, Oku Yohei, Hioki Kazunari, Miura Hideharu, Nagata Yasushi	4. 巻 108
2. 論文標題 A Multi-Institutional Retrospective Study of Repeated Stereotactic Body Radiation Therapy for Intrahepatic Recurrent Hepatocellular Carcinoma	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 International Journal of Radiation Oncology*Biology*Physics	6. 最初と最後の頁 1265 ~ 1275
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ijrobp.2020.07.034	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kim Nalee, Cheng Jason, Huang Wen-Yen, Kimura Tomoki, Zeng Zhao Chong, Lee Victor H.F., Kay Chul Seung, Seong Jinsil	4. 巻 109
2. 論文標題 Dose-Response Relationship in Stereotactic Body Radiation Therapy for Hepatocellular Carcinoma: A Pooled Analysis of an Asian Liver Radiation Therapy Group Study	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 International Journal of Radiation Oncology*Biology*Physics	6. 最初と最後の頁 464 ~ 473
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ijrobp.2020.09.038	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Su Chen, Okamoto Hiroyuki, Nishioka Shie, Sakasai Tatsuya, Fujiyama Daisuke, Miura Yuki, Tsunoda Yuki, Kuwahara Junichi, Nakamura Satoshi, Iijima Kotaro, Chiba Takahito, Kaga Keita, Takemori Mihiro, Nakayama Hiroki, Katsuta Shouichi, Inaba Koji, Igaki Hiroshi, Nakayama Yuko, Itami Jun	4. 巻 94
2. 論文標題 Dosimetric effect of the intestinal gas of online adaptive stereotactic body radiotherapy on target and critical organs without online electron density correction for pancreatic cancer	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 The British Journal of Radiology	6. 最初と最後の頁 239 ~ 239
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1259/bjr.20200239	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Kakino Ryo, Nakamura Mitsuhiro, Mitsuyoshi Takamasa, Shintani Takashi, Kokubo Masaki, Negoro Yoshiharu, Fushiki Masato, Ogura Masakazu, Itasaka Satoshi, Yamauchi Chikako, Otsu Shuji, Sakamoto Takashi, Sakamoto Masato, Araki Norio, Hirashima Hideaki, Adachi Takanori, Matsuo Yukinori, Mizowaki Takashi	4. 巻 47
2. 論文標題 Application and limitation of radiomics approach to prognostic prediction for lung stereotactic body radiotherapy using breath hold CT images with random survival forest: A multi institutional study	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Medical Physics	6. 最初と最後の頁 4634 ~ 4643
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/mp.14380	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kimura Tomoki, Takeda Atsuya, Sanuki Naoko, Ariyoshi Keisuke, Yamaguchi Takuhiro, Imagumbai Toshiyuki, Katoh Norio, Eriguchi Takahisa, Oku Yohei, Ozawa Shuichi, Tsurugai Yuichiro, Kokubo Masaki, Shimizu Shinichi, Ishikura Satoshi	4. 巻 51
2. 論文標題 Multicenter prospective study of stereotactic body radiotherapy for previously untreated solitary primary hepatocellular carcinoma: The STRSPH study	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Hepatology Research	6. 最初と最後の頁 461 ~ 471
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/hepr.13595	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Takada Akiyo, Yokota Hajime, Watanabe Nemoto Miho, Horikoshi Takuro, Matsushima Jun, Uno Takashi	4. 巻 38
2. 論文標題 A multi-scanner study of MRI radiomics in uterine cervical cancer: prediction of in-field tumor control after definitive radiotherapy based on a machine learning method including peritumoral regions	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Japanese Journal of Radiology	6. 最初と最後の頁 265 ~ 273
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11604-019-00917-0	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Sasaki Motoharu, Nakaguchi Yuji, Kamomae Takeshi, Kajino Akimi, Ikushima Hitoshi	4. 巻 -
2. 論文標題 Impact of treatment planning quality assurance software on volumetric-modulated arc therapy plans for prostate cancer patients	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Medical Dosimetry	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.meddos.2021.03.013	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sasaki Motoharu, Nakaguchi Yuji, Kamomae Takeshi, Tsuzuki Akira, Kobuchi Satoshi, Kuwahara Kenmei, Ueda Shoji, Endo Yuto, Ikushima Hitoshi	4. 巻 22
2. 論文標題 Analysis of prostate intensity and volumetric modulated arc radiation therapy planning quality with PlanIQ TM	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of Applied Clinical Medical Physics	6. 最初と最後の頁 132 ~ 142
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/acm2.13233	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kitagawa Kenta, Ikushima Hitoshi, Sasaki Motoharu, Furutani Shunsuke, Kawanaka Takashi, Kubo Akiko, Tonoiso Chisato, Kudoh Takaharu, Kano Yosuke, Tsuzuki Akira	4. 巻 21
2. 論文標題 Effect of dental metal artifact conversion volume on dose distribution in head and neck volumetric modulated arc therapy	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of Applied Clinical Medical Physics	6. 最初と最後の頁 253 ~ 262
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/acm2.13101	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sasaki Motoharu, Ikushima Hitoshi, Sakuragawa Kanako, Yokoishi Michihiro, Tsuzuki Akira, Sugimoto Wataru	4. 巻 61
2. 論文標題 Determination of reproducibility of end-exhaled breath-holding in stereotactic body radiation therapy	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of Radiation Research	6. 最初と最後の頁 977 ~ 984
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/jrr/rraa079	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sasaki Motoharu, Ikushima Hitoshi, Tsuzuki Akira, Sugimoto Wataru	4. 巻 25
2. 論文標題 The effect of rectal gas on dose distribution during prostate cancer treatment using full arc and partial arc Volumetric Modulated Arc Therapy (VMAT) treatment plans	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Reports of Practical Oncology & Radiotherapy	6. 最初と最後の頁 974 ~ 980
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.rpor.2020.09.013	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Sasaki Motoharu, Ikushima Hitoshi	4. 巻 38
2. 論文標題 Impact of changes in body contours on radiation therapy dose distribution after uterine cervical cancer surgery	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Japanese Journal of Radiology	6. 最初と最後の頁 1099 ~ 1107
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11604-020-01011-6	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sasaki Motoharu, Sugimoto Wataru, Ikushima Hitoshi	4. 巻 25
2. 論文標題 Simplification of head and neck volumetric modulated arc therapy patient-specific quality assurance, using a Delta4 PT	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Reports of Practical Oncology & Radiotherapy	6. 最初と最後の頁 793 ~ 800
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.rpor.2020.07.004	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sasaki Motoharu, Ikushima Hitoshi, Sugimoto Wataru, Kitagawa Kenta	4. 巻 13
2. 論文標題 Long-term stability of a three-dimensional dose verification system	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Radiological Physics and Technology	6. 最初と最後の頁 83 ~ 91
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s12194-020-00554-7	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Tanaka Hironori, Okamoto Koichi, Sato Yasushi, Tanaka Takahiro, Tomonari Tetsu, Nakamura Fumika, Fujino Yasuteru, Mitsui Yasuhiro, Miyamoto Hiroshi, Muguruma Naoki, Morita Akinori, Ikushima Hitoshi, Takayama Tetsuji	4. 巻 55
2. 論文標題 Synergistic anti-tumor activity of miriplatin and radiation through PUMA-mediated apoptosis in hepatocellular carcinoma	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of Gastroenterology	6. 最初と最後の頁 1072 ~ 1086
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00535-020-01705-8	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Koiwai Keiichiro, Endo Yuuki, Mizuhata Kai, Ina Hironobu, Fukazawa Ayumu, Ozawa Takesumi, Fujinaga Yasunari	4. 巻 19
2. 論文標題 Ten-Year Experience of Stereotactic Body Radiotherapy at a Single Institution: Impact of Technological Development on the Outcome of Patients With Early Lung Cancer	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Technology in Cancer Research & Treatment	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1177/1533033820979163	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 中村和正、小西憲太、大平啓一.	4. 巻 79 (5)
2. 論文標題 放射線療法 (重粒子線治療、定位放射線治療含む). 特集: 腎癌 III. 診断と治療.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 日本臨床	6. 最初と最後の頁 747-752
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中村和正、小西憲太、野末政志.	4. 巻 13(1)
2. 論文標題 前立腺がんに対する放射線寡分割照射の現状と展望. 特集 前立腺がんの診断と治療 -Update 2021.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 泌尿器科	6. 最初と最後の頁 43-49
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中村和正、小西憲太、小松哲也、大平 啓一、平田 真則、池之平 勉、野末政志、今井美智子、境野 晋二朗.	4. 巻 12(3)
2. 論文標題 「泌尿器がん転移巣に対する定位放射線治療の現状と展望」 特集 泌尿器がんに対するfocal therapyの現状と展望	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 泌尿器科	6. 最初と最後の頁 279-287
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小松哲也、中村和正	4. 巻 11(4)
2. 論文標題 腎がん 2) 腎がん脳転移に対する放射線治療 定位放射線治療を中心として	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 泌尿器科	6. 最初と最後の頁 421-429
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nakamura Katsumasa, Ishikawa Hitoshi, Akimoto Tetsuo, Aoki Manabu, Kariya Shinji, Kawamura Hidemasa, Kumano Tomoyasu, Kozuka Takuyo, Konishi Kenta, Sakaguchi Masakuni, Takayama Kenji, Other authors are shown in Appendix	4. 巻 50
2. 論文標題 National survey of radiation oncologists' practice patterns regarding hormone-na?ve prostate cancer with bone metastases	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Japanese Journal of Clinical Oncology	6. 最初と最後の頁 1188 ~ 1194
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/jjco/hyaa111	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Harada Hideyuki, Shikama Naoto, Wada Hitoshi, Uchida Nobue, Nozaki Miwako, Hayakawa Kazushige, Yamada Kazunari, Nagakura Hisayasu, Ogawa Hirofumi, Miyazawa Kazunari, Katagiri Hirohisa, Nakamura Naoki	4. 巻 51
2. 論文標題 A phase II study of palliative radiotherapy combined with zoledronic acid hydrate for metastatic bone tumour from renal cell carcinoma	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Japanese Journal of Clinical Oncology	6. 最初と最後の頁 100 ~ 105
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/jjco/hyaa158	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 NAKAMURA RYOSUKE, HIRATA TAKERO, SUZUKI OSAMU, OTANI KEISUKE, KAI NAOKI, HATANO KOJI, FUJITA KAZUTOSHI, UEMURA MOTOHIDE, IMAMURA RYOICHI, TANAKA KAZUNORI, YOSHIOKA YASUO, NONOMURA NORIO, OGAWA KAZUHIKO	4. 巻 40
2. 論文標題 Stereotactic Body Radiotherapy Using CyberKnife? for Localized Low- and Intermediate-risk Prostate Cancer: Initial Report on a Phase I/II Trial	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Anticancer Research	6. 最初と最後の頁 2053 ~ 2057
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.21873/anticancerres.14162	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kanzaki Ryu, Suzuki Osamu, Kanou Takashi, Ose Naoko, Funaki Soichiro, Shintani Yasushi, Minami Masato, Tamari Keisuke, Otani Keisuke, Seo Yuji, Isohashi Fumiaki, Ogawa Kazuhiko, Okumura Meinoshin	4. 巻 15
2. 論文標題 The short-term outcomes of pulmonary metastasectomy or stereotactic body radiation therapy for pulmonary metastasis from epithelial tumors	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of Cardiothoracic Surgery	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s13019-020-1079-4	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yamamoto Takaya, Kawasaki Yoshihide, Umezawa Rei, Kadoya Noriyuki, Matsushita Haruo, Takeda Kazuya, Ishikawa Yojiro, Takahashi Noriyoshi, Suzuki Yu, Takeda Ken, Kawabata Kousei, Ito Akihiro, Jingu Keiichi	4. 巻 62
2. 論文標題 Stereotactic body radiotherapy for kidney cancer: a 10-year experience from a single institute	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of Radiation Research	6. 最初と最後の頁 533 ~ 539
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/jrr/rrab031	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yamamoto Takaya, Niibe Yuzuru, Matsumoto Yasuo, Onishi Hiroshi, Aoki Masahiko, Nishikawa Atsushi, Oh Ryoong-Jin, Shintani Takashi, Yahara Katsuya, Ozaki Masatoki, Manabe Yoshihiko, Jingu Keiichi	4. 巻 61
2. 論文標題 Analyses of local control and survival after stereotactic body radiotherapy for pulmonary oligometastases from colorectal adenocarcinoma	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of Radiation Research	6. 最初と最後の頁 935 ~ 944
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/jrr/rraa071	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yamamoto Takaya, Niibe Yuzuru, Aoki Masahiko, Shintani Takashi, Yamada Kazunari, Kobayashi Mitsuru, Yamashita Hideomi, Ozaki Masatoki, Manabe Yoshihiko, Onishi Hiroshi, Yahara Katsuya, Nishikawa Atsushi, Katsui Kuniaki, Oh Ryoong-Jin, Terahara Atsuro, Jingu Keiichi	4. 巻 20
2. 論文標題 Analyses of the local control of pulmonary Oligometastases after stereotactic body radiotherapy and the impact of local control on survival	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 BMC Cancer	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12885-020-07514-9	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yamamoto Takaya, Niibe Yuzuru, Matsumoto Yasuo, Aoki Masahiko, Oh Ryoong Jin, Ozaki Masatoki, Kobayashi Mitsuru, Manabe Yoshihiko, Shintani Takashi, Dekura Yasuhiro, Onishi Hiroshi, Yamashita Hideomi, Jingu Keiichi	4. 巻 9
2. 論文標題 Factors related to primary cancer death and non primary cancer death in patients treated with stereotactic body radiotherapy for pulmonary oligometastases	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Cancer Medicine	6. 最初と最後の頁 8902 ~ 8911
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/cam4.3508	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 YAMAMOTO TAKAYA, NIIBE YUZURU, MATSUMOTO YASUO, DEKURA YASUHIRO, OH RYOONG-JIN, YAMASHITA HIDEOMI, KAKUHARA HISAO, AOKI MASAHIKO, JINGU KEIICHI	4. 巻 40
2. 論文標題 Stereotactic Body Radiotherapy for Pulmonary Oligometastases from Esophageal Cancer: Results and Prognostic Factors	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Anticancer Research	6. 最初と最後の頁 2065 ~ 2072
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.21873/anticanres.14164	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yamamoto Takaya, Niibe Yuzuru, Yamada Kazunari, Aoki Masahiko, Onishi Hiroshi, Katsui Kuniaki, Dekura Yasuhiro, Nishikawa Atsushi, Manabe Yoshihiko, Yamashita Hideomi, Jingu Keiichi	4. 巻 147
2. 論文標題 Significant reduction of oncologic pulmonary death by local control for pulmonary oligometastases treated with stereotactic body radiotherapy	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Radiotherapy and Oncology	6. 最初と最後の頁 86 ~ 91
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.radonc.2020.03.019	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 YAMAMOTO TAKAYA, NIIBE YUZURU, MATSUMOTO YASUO, DEKURA YASUHIRO, OH RYOONG-JIN, YAMASHITA HIDEOMI, KAKUHARA HISAO, AOKI MASAHIKO, JINGU KEIICHI	4. 巻 40
2. 論文標題 Stereotactic Body Radiotherapy for Pulmonary Oligometastases from Esophageal Cancer: Results and Prognostic Factors	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Anticancer Research	6. 最初と最後の頁 2065 ~ 2072
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.21873/anticancer.14164	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nakajima Yujiro, Kadoya Noriyuki, Kimura Tomoki, Hioki Kazunari, Jingu Keiichi, Yamamoto Tokihiro	4. 巻 5
2. 論文標題 Variations Between Dose-Ventilation and Dose-Perfusion Metrics in Radiation Therapy Planning for Lung Cancer	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Advances in Radiation Oncology	6. 最初と最後の頁 459 ~ 465
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.adro.2020.03.002	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kadoya Noriyuki, Tanaka Shohei, Kajikawa Tomohiro, Tanabe Shunpei, Abe Kota, Nakajima Yujiro, Yamamoto Takaya, Takahashi Noriyoshi, Takeda Kazuya, Dobashi Suguru, Takeda Ken, Nakane Kazuaki, Jingu Keiichi	4. 巻 47
2. 論文標題 Homology based radiomic features for prediction of the prognosis of lung cancer based on CT based radiomics	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Medical Physics	6. 最初と最後の頁 2197 ~ 2205
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/mp.14104	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yamashita Hideomi, Ogita Mami, Aoki Shuri, Abe Osamu, Nakagawa Keiichi	4. 巻 13
2. 論文標題 Linear accelerator-based stereotactic body radiation therapy in the treatment of oligometastatic disease	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Molecular and Clinical Oncology	6. 最初と最後の頁 109 ~ 114
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3892/mco.2020.2065	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Aoki Shuri, Yamashita Hideomi, Takahashi Wataru, Nawa Kanabu, Ota Takeshi, Imae Toshikazu, Ozaki Sho, Nozawa Yuki, Nakajima Jun, Sato Masaaki, Anraku Masaki, Nitadori Junichi, Karasaki Takahiro, Abe Osamu, Nakagawa Keiichi	4. 巻 -
2. 論文標題 Salvage stereotactic body radiotherapy for post-operative oligo-recurrence of non-small cell lung cancer: A single-institution analysis of 59 patients	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Oncology Letters	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3892/ol.2020.11407	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Wujanto C, Vellayappan B, Siva S, Louie AV, Guckenberger M, Slotman BJ, Onishi H, Nagata Y, Liu M, Lo SS	4. 巻 12 ; 9
2. 論文標題 Stereotactic Body Radiotherapy for Oligometastatic Disease in Non-small Cell Lung Cancer.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Frontiers in Oncology	6. 最初と最後の頁 1219
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fonc.2019.01219	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Correa RJM, Louie AV, Zaorsky NG, Lehrer EJ, Ellis R, Ponsky L, Kaplan I, Mahadevan A, Chu W, Swaminath A, Hannan R, Onishi H, Teh BS, Muacevic A, Lo SS, Staehler M, Siva S.	4. 巻 pii: S2405-4569(19)
2. 論文標題 Reply to Francesco Montorsi, Alessandro Larcher, and Umberto Capitanio's Letter to the Editor re: Rohann J.M. Correa, et al. The Emerging Role of Stereotactic Ablative Radiotherapy for Primary Renal Cell Carcinoma: A Systematic Review and Meta-Analysis. Eur Urol Focus. 2019 Jun 24. pii: S2405-4569(19)30157-9. https://doi.org/10.1016/j.euf.2019.06.002. [Epub ahead of print].	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 European Urology Focus	6. 最初と最後の頁 30310-4
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.euf.2019.10.004	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Correa RJM, Louie AV, Zaorsky NG, Lehrer EJ, Ellis R, Ponsky L, Kaplan I, Mahadevan A, Chu W, Swaminath A, Hannan R, Onishi H, Teh BS, Muacevic A, Lo SS, Staehler M, Siva S	4. 巻 5(6)
2. 論文標題 The Emerging Role of Stereotactic Ablative Radiotherapy for Primary Renal Cell Carcinoma: A Systematic Review and Meta-Analysis.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 European Urology Focus	6. 最初と最後の頁 958-969
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.euf.2019.06.002	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Funayama S, Onishi H, Kuriyama K, Komiyama T, Marino K, Araya M, Saito R, Aoki S, Maehata Y, Nonaka H, Tominaga L, Muramatsu J, Nakagomi H, Kamiyama M, Takeda M	4. 巻 1;18
2. 論文標題 Renal Cancer is Not Radioresistant: Slowly but Continuing Shrinkage of the Tumor After Stereotactic Body Radiation Therapy.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Technology in Cancer Research & Treatment	6. 最初と最後の頁 *
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1177/1533033818822329	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Correa RJM, Louie AV, Staehler M, Warner A, Gandhidasan S, Ponsky L, Ellis R, Kaplan I, Mahadevan A, Chu W, Swaminath A, Onishi H, Teh BS, Lo SS, Muacevic A, Siva S	4. 巻 201(6)
2. 論文標題 Stereotactic Radiotherapy as a Treatment Option for Renal Tumors in the Solitary Kidney: A Multicenter Analysis from the IROCK.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 The journal of Urology	6. 最初と最後の頁 1097-1104
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1097/JU.0000000000000111	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Matsuo Y	4. 巻 11(Supple9)
2. 論文標題 Stereotactic body radiotherapy as an alternative to metastasectomy for pulmonary oligometastasi	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 J Thorac Dis.	6. 最初と最後の頁 S1420-S1422
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.21037/jtd.2019.02.94	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Correa RJM, Louie AV, Staehler M, Warner A, Gandhidasan S, Ponsky L, Ellis R, Kaplan I, Mahadevan A, Chu W, Swaminath A, Onishi H, Teh BS, Lo SS, Muacevic A, Siva S.	4. 巻 201(6)
2. 論文標題 Stereotactic Radiotherapy as a Treatment Option for Renal Tumors in the Solitary Kidney: A Multicenter Analysis from the IROCK.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 J Urol	6. 最初と最後の頁 1097-1104
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1097/JU.0000000000000111	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Kato N, Onishi H, Uchinami Y, Inoue T, Kuriyama K, Nishioka K, Shimizu S, Komiyama T, Miyamoto N, Shirato H.	4. 巻 1:17
2. 論文標題 Real-Time Tumor-Tracking Radiotherapy and General Stereotactic Body Radiotherapy for Adrenal Metastasis in Patients With Oligometastasis.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Technol Cancer Res Treat	6. 最初と最後の頁 1-9
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1177/1533033818809983	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Onishi H, Marino K, Yamashita H, Terahara A, Onimaru R, Kokubo M, Shioyama Y, Kozuka T, Matsuo Y, Aruga T, Hiraoka M.	4. 巻 1:17
2. 論文標題 Case Series of 23 Patients Who Developed Fatal Radiation Pneumonitis After Stereotactic Body Radiotherapy for Lung Cancer.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Technol Cancer Res Treat	6. 最初と最後の頁 1-6
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1177/1533033818801323	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Shibamoto Y, Onishi H	4. 巻 17
2. 論文標題 Stereotactic Body Radiotherapy as an Alternative to Definitive Surgery in Cancers of Various Organs.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Technology in cancer research & treatment	6. 最初と最後の頁 1-3
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1177/1533033818800497	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Inoue T, Katoh N, Ito YM, Kimura T, Nagata Y, Kuriyama K, Onishi H, Yoshitake T, Shioyama Y, Iizuka Y, Inaba K, Konishi K, Kokubo M, Karasawa K, Kozuka T, Tanaka K, Sakakibara-Konishi J, Kinoshita I, Shirato H.	4. 巻 122
2. 論文標題 Stereotactic body radiotherapy to treat small lung lesions clinically diagnosed as primary lung cancer by radiological examination: A prospective observational study.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Lung Cancer	6. 最初と最後の頁 107-112
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.lungca	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Shioyama Y, Onishi H, Takayama K, Matsuo Y, Takeda A, Yamashita H, Miyakawa A, Murakami N, Aoki M, Matsushita H, Matsumoto Y, Shibamoto Y; Japanese Radiological Society Multi-Institutional SBRT Study Group (JRS-SBRTSG).	4. 巻 1;17
2. 論文標題 Clinical Outcomes of Stereotactic Body Radiotherapy for Patients With Stage I Small-Cell Lung Cancer: Analysis of a Subset of the Japanese Radiological Society Multi-Institutional SBRT Study Group Database.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Technol Cancer Res Treat	6. 最初と最後の頁 1-6
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1177/1533033818783904	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Siva S, Louie AV, Warner A, Muacevic A, Gandhidasan S, Ponsky L, Ellis R, Kaplan I, Mahadevan A, Chu W, Swaminath A, Onishi H, Teh B, Correa RJ, Lo SS, Staehler M.	4. 巻 1;124(5)
2. 論文標題 Pooled analysis of stereotactic ablative radiotherapy for primary renal cell carcinoma: A report from the International Radiosurgery Oncology Consortium for Kidney (IROCK).	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Cancer	6. 最初と最後の頁 934-942
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/cncr.31156	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Siva S, Ellis RJ, Ponsky L, Teh BS, Mahadevan A, Muacevic A, Staehler M, Onishi H, Wersall P, Nomiya T, Lo SS.	4. 巻 12
2. 論文標題 Consensus statement from the International Radiosurgery Oncology Consortium for Kidney for primary renal cell carcinoma.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Future Oncology	6. 最初と最後の頁 637-645
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2217/fo.16.2.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 大西洋	4. 巻 70
2. 論文標題 泌尿器科領域における定位放射線治療の応用.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 臨床泌尿器科	6. 最初と最後の頁 666-672
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

[学会発表] 計69件 (うち招待講演 32件 / うち国際学会 22件)

1. 発表者名 Igaki H, Nishioka S, Inaba K, Sasakai T, Okamoto H, Kuwahara J, Okuma K, Nakamura S, Abe Y, Itami J
2. 発表標題 Magnetic Resonance-guided Online Adaptive Stereotactic Body Radiotherapy for Pancreatic Cancer
3. 学会等名 The 7th Japan-Taiwan Radiation Oncology Symposium (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 木村智樹
2. 発表標題 腫瘍内の超高線量の安全性と治療効果, 腫瘍内の超高線量の安全性と治療効果 - 賛成派 -
3. 学会等名 第32回日本高精度放射線外部照射部会学術大会 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 井垣浩、西岡史絵、稲葉浩二、逆井達也、岡本裕之、桑原潤一、三浦悠記、大熊加恵、阿部容久、伊丹純
2. 発表標題 MR画像誘導下online adaptive radiotherapy (ART)による膵癌定位放射線治療
3. 学会等名 第32回高精度放射線外部照射部会学術大会 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 塩山善之
2. 発表標題 The role of radiation therapy in the management of small-cell lung cancers
3. 学会等名 第60回日本肺癌学会学術大会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Takada A, Yokota H, Watanabe M, Horikoshi T, Matsushima J, Uno T.
2. 発表標題 MRI radiomics machine learning approach for predicting locoregional control in locally advanced uterine cervical cancer after definitive radiotherapy using multi-center MRI data
3. 学会等名 MRI radiomics machine learning approach for predicting locoregional control in locally advanced uterine cervical cancer after definitive radiotherapy using multi-center MRI data (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 打浪雄介、加藤徳雄、阿保大介、田口大志、森田亮、曾山武士、鬼丸力也、清水伸一、白土博樹
2. 発表標題 肝細胞癌に対して動体追跡放射線治療を施行した症例の治療成績
3. 学会等名 第28回日本定位放射線治療学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 第28回日本定位放射線治療学会
2. 発表標題 照射中心をPTV外に設定した肝癌動体追跡放射線治療の検討
3. 学会等名 日本放射線腫瘍学会第32回学術大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Matsuo Y, Mitsuyoshi T, Shintani T, Mizowaki T
2. 発表標題 A prognostic model for non-lung-cancer death in old patients treated with SBRT for lung cancer.
3. 学会等名 ESTRO Meets Asia 2018 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Chisato Tonoiso, Hitoshi Ikushima, Akihiro Haga, Shunsuke Furutani, Takashi Kawanaka, Akiko Kubo, Masato Nishimura, Akiko Abe, Minoru Irahara and Masafumi Harada :
2. 発表標題 Investigation of prognostic factors of cervical cancer using pre-treatment MRI images,
3. 学会等名 The 2018 International Gynecologic Cancer Society Meeting (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 井垣浩、西岡史絵、逆井達也、三浦悠記、飯島康太郎、岡本裕之、大熊加恵、稲葉浩二、中村哲志、上松正和、高川佳明、柏原大朗、島聖、村上直也、中山優子、伊丹純
2. 発表標題 MRIdianによる膵臓癌に対する体幹部定位放射線治療の初期臨床報告
3. 学会等名 第31回日本放射線腫瘍学会学術大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 木村智樹、今野伸樹、竹内有樹、高橋一平、西淵いくの、村上祐司、永田靖
2. 発表標題 肝細胞癌に対する定位放射線治療の可能性、シンポジウム「肺・肝における高精度治療のすみわけ」
3. 学会等名 第31回日本高精度放射線外部照射部会学術大会 (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 木村智樹, 足立佳範, 今野伸樹, 竹内有樹, 高橋一平, 西淵いくの, 村上祐司, 永田 靖
2. 発表標題 根治を目指すあくなき挑戦～新たな化学放射線療法の治療戦略～
3. 学会等名 日本放射線腫瘍学会第31回学術大会 (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Kimura T:
2. 発表標題 SBRT for liver cancer, 1st International meeting on LINAC based advanced technologies in Radiation oncology
3. 学会等名 The Mongolian Society for Radiation Oncology (MOSTRO) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Kimura T
2. 発表標題 Selection of Treatment Modality in Early-Stage HCC: Ablative Radiotherapy in the Treatment of Early HCC
3. 学会等名 9th Asia-Pacific Primary Liver Cancer Expert Meeting (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 大西 洋
2. 発表標題 様々な体幹部病変に対する定位放射線治療
3. 学会等名 第35回京都がん研究会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 大西 洋
2. 発表標題 平成30年度診療報酬改定速報 新しい時間を迎える高精度放射線治療
3. 学会等名 サイバーナイフ研究会第12回学術研究会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 稲葉浩二、井垣浩、西岡史絵、岡本裕之、飯島康太郎、逆井達也、三浦悠記、上松正和、島聖、高川佳明、柏原大朗、大熊加恵、村上直也、中山優子、阿部容久、伊丹純
2. 発表標題 The 31st Annual Meeting of the Japanese Society for Radiation Oncology (JASTRO2018) ワークショップ 1 Adaptive Radiation Therapy について考える Adaptive radiation therapyについて臨床的側面から考える
3. 学会等名 日本放射線腫瘍学会 第31回学術大会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 稲葉浩二、岡本裕之、西岡史絵、三浦悠記、逆井達也 飯島康太郎、島聖、土田圭祐、高川佳明、柏原大朗、高橋加奈 大熊加恵、村上直也、伊藤芳紀、井垣浩、中山優子、伊丹純
2. 発表標題 膵がんへのMR画像誘導放射線治療を用いた定位放射線治療のplanning study
3. 学会等名 第49回日本膵臓学会大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 萬利乃寛, 大西洋, 栗山健吾, 小宮山貴史, 青木真一, 松田正樹, 高橋弘, 佐谷健一郎
2. 発表標題 リンパ節転移に対するSBRTの成績
3. 学会等名 第76回 日本医学放射線学会総会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Vu N, Saito M, Sano N, Kuriyama K, Marino K, Aoki S, Onishi H ,
2. 発表標題 The changes in tumor volume and location during stereotactic body radiotherapy period in patients with stage I non-small cell lung cancer: the need for implementation of the Adaptive Radiotherapy planning.
3. 学会等名 2020 ASTRO 's 62nd Annual Meeting, (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 大西 洋
2. 発表標題 パラダイムチェンジは常に最初は否定される オリゴ転移に対する定位放射線治療
3. 学会等名 第58回 日本癌治療学会学術集会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Vu N, Saito M, Sano N, Komiyama T, Marino K, Aoki S, Maehata Y, Akita T, Onishi H
2. 発表標題 Radiomics based prediction of prognosis for lung cancer patients treated with SBRT
3. 学会等名 日本放射線腫瘍学会第33回学術大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Ishikawa H
2. 発表標題 Past to future and local to global: Japanese perspective (Symposium).
3. 学会等名 XIX Annual Conference of Evidence-Based Management of Cancers in India - EBM 2021: Virtual Meeting (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 石川 仁
2. 発表標題 粒子線の特徴を生かした治療法を開発するための基礎的，臨床的研究
3. 学会等名 日本放射線腫瘍学会第33回学術大会、
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 石川 仁，中村雅俊，大西かよ子，奥村敏之，大城佳子，中島美緒，林 和彦，山本直敬，櫻井英幸
2. 発表標題 高齢者肺癌に対する陽子線治療
3. 学会等名 第61回日本肺癌学会学術集会（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 石川 仁，若月 優，山田 滋，辻 比呂志，中野隆史，中井 啓，奥村敏之，櫻井英幸
2. 発表標題 粒子線治療の進歩（JSCO / JCA / JSMO Joint Symposium）
3. 学会等名 第58回日本癌治療学会学術集会（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 稻盛真人，吉武忠正，浅井佳央里，松本圭司，白川友子，中島孝彰，佐々木智成，西江昭宏，塩山善之
2. 発表標題 オリゴ骨転移に対する定位放射線治療の治療成績
3. 学会等名 日本放射線腫瘍学会第33回高精度放射線外部照射部会学術大
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 浅井佳央里, 吉武忠正, 松本圭司, 白川友子, 稲盛真人, 中島孝彰, 塩山善之
2. 発表標題 大腸癌肺転移に対する体幹部定位放射線治療成績
3. 学会等名 日本放射線腫瘍学会第33回高精度放射線外部照射部会学術大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 塩山善之
2. 発表標題 肺癌に対する放射線療法における最近の進歩 ~Recent developments of radiotherapy for lung cancer ~
3. 学会等名 学会等名 第79回日本医学放射線学会総会 (招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 塩山善之
2. 発表標題 肺癌に対する放射線療法
3. 学会等名 第61回日本肺癌学会九州支部学術集会 (招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Taka-aki Hirose, Hidetaka Arimura, Kenta Ninomiya, Tadamasa Yoshitake, Jun-ichi Fukunaga, Yoshiyuki Shioyama
2. 発表標題 Radiomic prediction of radiation pneumonitis on pretreatment planning CT images of lung cancer patients receiving stereotactic body radiation therapy
3. 学会等名 American Association of Physicists in Medicine (AAPM) Annual Meeting 2020 (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 稲葉浩二、井垣浩、大熊加恵、岡本裕之、西岡史絵、高橋彩加、高橋加奈、島聖、清水友里、柏原大朗、村上直也、中山優子、伊丹純
2. 発表標題 膵癌に対するMRガイド放射線治療を用いた定位放射線治療の成績
3. 学会等名 第12回日本放射線外科学会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 井垣浩、岡本裕之、桑原潤一、稲葉浩二、西岡史絵、逆井達也、千葉貴仁、柏原大朗、高橋加奈、大熊加恵、中村哲志、村上直也、飯島康太郎、勝田昭一、伊丹純
2. 発表標題 MR画像誘導によるリアルタイム腫瘍追跡放射線治療（臓器別シンポジウム 14「画像誘導治療の今後について」
3. 学会等名 第58回日本癌治療学会学術集会（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 井垣浩、西岡史絵、稲葉浩二、逆井達也、岡本裕之、桑原潤一、三浦悠記、大熊加恵、中村哲志、飯島康太郎、柏原大朗、中山優子、阿部容久、勝田昭一、伊丹純
2. 発表標題 膵癌に対するonline adaptive体幹部定位放射線治療（シンポジウム1-3 高精度放射線治療の現状と今後の展開 臓器別シンポジウム 肝がん・膵臓がん）
3. 学会等名 第33回高精度放射線外部照射部会学術大会（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 井垣浩、岡本裕之、桑原潤一、稲葉浩二、西岡史絵、逆井達也、千葉貴仁、柏原大朗、高橋加奈、金田朋也、大熊加恵、村上直也、中村哲志、飯島康太郎、勝田昭一、伊丹純
2. 発表標題 MR画像誘導による照射中のリアルタイム腫瘍追跡（ワークショップ「動体追跡・追尾X線治療の最前線と今後の方向性」
3. 学会等名 第33回日本放射線腫瘍学会学術大会（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 井垣浩, 西岡史絵, 稲葉浩二, 逆井達也, 岡本裕之, 桑原潤一, 清水友理, 中山広樹, 阿部容久, 勝田昭一, 伊丹純
2. 発表標題 肺癌に対する体幹部定位放射線治療 (シンポジウム1 体幹部定位放射線治療のトピックス)
3. 学会等名 第29回日本定位放射線治療学会 (招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 足立孝則, 中村光宏, 新谷堯, 光吉隆真, 柿野諒, 坂本隆吏, 小久保雅樹, 松尾幸憲, 溝脇尚志
2. 発表標題 Dose-based radiomics特徴量を用いた肺SBRT後の放射線肺臓炎の予測: 後方視的多施設共同研究.
3. 学会等名 第49回京都放射線腫瘍研究会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 足立孝則, 中村光宏, 新谷堯, 光吉隆真, 柿野諒, 坂本隆吏, 小久保雅樹, 松尾幸憲, 溝脇尚志.
2. 発表標題 Dose-based radiomics特徴量を用いた肺SBRT後の放射線肺臓炎の予測: 後方視的多施設共同研究.
3. 学会等名 第119回日本医学物理学学会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 木村智樹, 今野伸樹, 亀岡 翼, 越智雅則, 竹内有樹, 高橋一平, 西淵いくの, 河原大輔, 三木健太郎, 斎藤明登, 村上祐司, 永田 靖
2. 発表標題 局所進行非小細胞肺癌に対するIMRTの現状
3. 学会等名 第33回日本高精度放射線外部照射部会学術大会 (招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Adachi T, Nakamura M, Shintani T, Mitsuyoshi T, Kakino R, Ogata T, Tanabe H, Ono T, Hirashima H, Sakamoto T, Kokubo M, Matsuo Y, Mizowaki T.
2. 発表標題 Prediction of radiation pneumonitis after lung stereotactic body radiation therapy using dosimics features: a retrospective multi-institutional study.
3. 学会等名 AAPM2020 (招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Kakino R, Nakamura M, Mitsuyoshi T, Shintan T, Kokubo M, Negoro Y, Fushiki M, Ogura M, Itasaka S Yamauchi C, Otsu S, Sakamoto T, Sakamoto M, Araki N, Hirashima H, Adachi T, Matsuo Y, Mizowaki T
2. 発表標題 Prognostic Prediction for Lung Stereotactic Body Radiotherapy Using Breath-Hold CT-Based Radiomic Features with Random Survival Forest: A Multi-Institutional Study.
3. 学会等名 AAPM2020 (招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Motoharu Sasaki, Hitoshi Ikushima, KOHBUCHI Satoshi, KUWAHARA Kenmei, KAJINO Akimi, SATOH Daisuke, Sugimoto Wataru and Masataka Oita
2. 発表標題 Prediction of Dose Discrepancies Using Differences in Plan Normalization Values of Head-And-Neck VMAT Plans
3. 学会等名 2021 AAPM Virtual 63rd Annual Meeting, (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Motoharu Sasaki, Hitoshi Ikushima, Kenta Kitagawa, Yohsuke Kanoh, Masahide Tominaga, Hirofumi Honda, Wataru Sugimoto and Masataka Oita
2. 発表標題 Impact of Changes in Body Shapes on Radiation Therapy Dose Distribution After Uterine Cervical Cancer Surgery
3. 学会等名 AAPM 62th annual meeting (WEB) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 中村和正
2. 発表標題 「腎腫瘍の放射線治療」シンポジウム5. 泌尿器科腫瘍に対する放射線治療の新たな試み.
3. 学会等名 第80回日本医学放射線学会総会 (招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 中村和正
2. 発表標題 進行前立腺癌に対する外部照射：変革期の現状と今後
3. 学会等名 第10回 ちば 新世紀泌尿器科セミナー (招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 中村和正
2. 発表標題 「前立腺がんに対する寡分割照射と現状と展望」(教育講演)
3. 学会等名 第12回日本放射線外科学会 (招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 中村和正
2. 発表標題 前立腺癌外部照射の現状と将来展望. シンポジウム 1 - 4 「高精度放射線治療の現状と今後の展開 臓器別シンポジウム 前立腺がん」日本放射線腫瘍学会
3. 学会等名 第33回高精度放射線外部照射部会学術大会 (招待講演)
4. 発表年 2020年

1 . 発表者名 Yamamoto, N. Kadoya, H. Matsushita, R. Umezawa, K. Ito, Y. Ishikawa, and K. Jingu.
2 . 発表標題 Preliminary results of SRS for a lung tumor: a single-arm phase 2 study in a single institute.
3 . 学会等名 ESTRO 2020 annual meeting. (国際学会)
4 . 発表年 2020年

1 . 発表者名 T. Yamamoto, N. Yuzuru, K. Yamada, M. Aoki, H. Onishi, K. Katsui, and K. Jingu.
2 . 発表標題 Prevention of oncologic pulmonary death by control for pulmonary oligometastases treated with SBRT.
3 . 学会等名 ESTRO 2020 annual meeting. (招待講演) (国際学会)
4 . 発表年 2020年

1 . 発表者名 Onishi H
2 . 発表標題 SBRT for other diseases
3 . 学会等名 HICARE/IAEA International Training Course on Advanced Radiation Therapy (招待講演) (国際学会)
4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名 Onishi H
2 . 発表標題 Summary of PACIFIC trial and its discussion points from the radiation oncology view
3 . 学会等名 The 7th Japan-Taiwan Radiation Oncology Symposium (招待講演) (国際学会)
4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名 Onishi H
2 . 発表標題 ODAIBA-Declaration: Expand the role of SBRT toward operable, palliative, and polymetastatic patients!」.
3 . 学会等名 The 7th Japan-Taiwan Radiation Oncology Symposium (招待講演) (国際学会)
4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名 Maehata Y, Satani K, Komiyama T, Marino K, Aoki S, Saito R, Takahashi H, Onishi H
2 . 発表標題 Stereotactic Body Radiotherapy for Lymph Node Metastases
3 . 学会等名 The 7th Japan-Taiwan Radiation Oncology Symposium (国際学会)
4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名 Siva S, Staehler M, Correa RJM, Warner A, Ellis RJ, Gandhidasan S, Ponsky L, Kaplan I, Mahadevan A, Chu W, Swaminath A, Onishi H, Teh BS, Lo SS, Muacevic
2 . 発表標題 Stereotactic Body Radiotherapy for Large Primary Renal Cell Carcinoma: A Report from the International Radiosurgery Oncology Consortium for Kidney (IROCK)
3 . 学会等名 2019 ASTRO Annual Meeting (国際学会)
4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名 .Maehata Y, Komiyama T, Marino K, Aoki S, Satio R, Akita T, Yamada T, Muramatsu J, Saito M, Sano N, Onishi H
2 . 発表標題 Stereotactic Body Radiotherapy for Lymph Node Oligometastases
3 . 学会等名 2019 ASTRO Annual Meeting (国際学会)
4 . 発表年 2019年

1. 発表者名 青木真一, 大西洋, 小宮山貴史, 萬利乃寛, 齋藤亮, 前畠良康, 村松樹里亜, 松田正樹, 秋田知子, 齋藤正英, 吉澤和弥, 芦沢和成, 鈴木秀和, 上田幸治, 佐野尚樹
2. 発表標題 当科での子宮頸癌における腔内照射線量増加後の初期報告
3. 学会等名 日本放射線腫瘍学会 第32回学術大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 前畠良康, 青木真一, 齋藤亮, 萬利乃寛, 小宮山貴史, 秋田知子, 松田正樹, 村松樹里亜, 齋藤正英, 佐野尚樹, 大西洋
2. 発表標題 当院における膀胱癌に対する根治的放射線治療
3. 学会等名 日本放射線腫瘍学会 第32回学術大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 松田正樹, 大西洋, 小宮山貴史, 萬利乃寛, 青木真一, 齋藤亮, 前畠良康, 秋田知子, 大栗実彦
2. 発表標題 食道癌に対するinvolved fieldによる放射線療法の治療成績
3. 学会等名 日本放射線腫瘍学会 第32回学術大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 大西洋
2. 発表標題 体幹部定位照射によって拓かれた放射線治療の新世界 - 画像技術の発展と共に -
3. 学会等名 第53回 高知県放射線科医会総会・学術講演会(招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 大西洋
2. 発表標題 免疫定位放射線治療が拓くall cancer stagesへの未来的治療の可能性
3. 学会等名 第28回日本定位放射線治療学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 大西 洋
2. 発表標題 様々な体幹部病変に対する定位放射線治療
3. 学会等名 第35回京都がん研究会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 大西 洋
2. 発表標題 平成30年度診療報酬改定速報 新しい時間を迎える高精度放射線治療
3. 学会等名 サイバーナイフ研究会第12回学術研究会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Onishi H
2. 発表標題 Updates in SBRT
3. 学会等名 The Lung Cancer Consortium Singapore 2018 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Onishi H
2. 発表標題 Immuno-radiotherapy: inseparable encounter like Sashimi and Wasabi
3. 学会等名 The 6th Taiwan-Japan Radiation Oncology Symposium (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Onishi H
2. 発表標題 Current status and future of radiation therapy: developing to be a main stream of cancer treatment
3. 学会等名 UniSZA (Sultan Zainal Abidin) 大学医学部附属病院 講演会 (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 大西 洋
2. 発表標題 Immuno-radiotherapy: Synergistic power of abscopal effect by radiotherapy and immunotherapy
3. 学会等名 第59回日本肺癌学会学術集会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 萬利乃寛, 大西洋, 栗山健吾, 小宮山貴史, 青木真一, 松田正樹, 高橋弘, 佐谷健一郎
2. 発表標題 リンパ節転移に対するSBRTの成績
3. 学会等名 第76回 日本医学放射線学会総会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 秋田知子, 大西洋, 栗山健吾, 小宮山貴史, 萬利乃寛, 青木真一, 佐谷健一郎, 高橋弘
2. 発表標題 腎盂・尿管癌の定位放射線治療
3. 学会等名 第31回高精度放射線外部照射部会学術大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 2. Onishi H
2. 発表標題 SBRT for various organs and its toxicity.
3. 学会等名 3rd International SBRT Symposium & Workshop, 2016. 6.21-25, Singapore. (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

〔図書〕 計8件

1. 著者名 特定非営利活動法人 日本肺癌学会	4. 発行年 2021年
2. 出版社 金原出版	5. 総ページ数 500
3. 書名 肺癌診療ガイドライン - 悪性胸膜中皮腫・胸腺腫瘍含む - 2020年版	

1. 著者名 日本放射線腫瘍学会	4. 発行年 2020年
2. 出版社 金原出版	5. 総ページ数 456
3. 書名 放射線治療計画ガイドライン 2020年版	

1. 著者名 齋藤 真、渡辺未歩、宇野 隆	4. 発行年 2019年
2. 出版社 メジカルビュー社、	5. 総ページ数 5,396
3. 書名 放射線療法：強度変調放射線療法(IMRT)，サイバーナイフ．市川智彦、鈴木啓悦編「前立腺がんのすべて 基礎から臨床まで」	

1. 著者名 松下晴雄	4. 発行年 2018年
2. 出版社 技術情報協会	5. 総ページ数 508
3. 書名 がん治療で起こる副作用・合併症の治療法と薬剤開発 4	

1. 著者名 稲葉浩二、井垣浩、西岡史絵、岡本裕之、三浦悠記、逆井達也、柏原大朗、大熊加恵、村上直也、中山優 子、阿部容久、伊丹純	4. 発行年 2018年
2. 出版社 金原出版	5. 総ページ数 1015-1020
3. 書名 臨床放射線63：2018年9月号 MR 画像誘導放射線治療の初期報告	

1. 著者名 稲葉浩二、井垣浩、伊丹純	4. 発行年 2018年
2. 出版社 金原出版	5. 総ページ数 40-42
3. 書名 膵・胆道癌FRONTIER 2018年4月号；7(1) 期待される最新研究 MRIdian®放射線治療システ	

1. 著者名 大西洋、唐澤久美子、唐澤克之	4. 発行年 2017年
2. 出版社 学研メディカル秀潤社	5. 総ページ数 1336
3. 書名 がん・放射線療法 2017 改訂第7版	

1. 著者名 大西洋、唐澤久美子、唐澤克之	4. 発行年 2017年
2. 出版社 学研メディカル秀潤社	5. 総ページ数 1336
3. 書名 がん・放射線療法 2017 改訂第7版	

〔産業財産権〕

〔その他〕

<p>腎細胞癌に対する定位放射線治療の第I/II相研究 (UMIN-CTR) https://upload.umin.ac.jp/cgi-open-bin/ctr/ctr.cgi?function=brows&action=brows&recptno=R000005008&type=summary&language=J</p> <p>多発病巣を有する肺癌患者における、Nivolumabと定位照射の併用療法に関する臨床第I相試験 https://upload.umin.ac.jp/cgi-open-bin/ctr/ctr_view.cgi?recptno=R000027040</p>

6. 研究組織			
	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	神宮 啓一 (Jingu Keiichi) (00451592)	東北大学・医学系研究科・教授 (11301)	

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	根本 建二 (Nemoto Kenji) (10208291)	山形大学・医学部・理事 (11501)	
研究分担者	塩山 善之 (Shioyama Yoshiyuki) (10323304)	公益財団法人佐賀国際重粒子線がん治療財団九州国際重粒子線がん治療センター（臨床研究部）・臨床研究部・センター長 (87208)	
研究分担者	芝本 雄太 (Shibamoto Yuta) (20144719)	名古屋市立大学・医薬学総合研究院（医学）・教授 (23903)	
研究分担者	中村 和正 (Katsumasa Nakamura) (20284507)	浜松医科大学・医学部・教授 (13802)	
研究分担者	松下 晴雄 (Matsushita Haruo) (20302250)	東北大学・医学系研究科・准教授 (11301)	
研究分担者	小岩井 慶一郎 (Koiwai Keiichiro) (20419360)	信州大学・学術研究院医学系（医学部附属病院）・講師 (13601)	
研究分担者	佐藤 啓 (Sato Kei) (20793532)	山形大学・医学部・講師 (11501)	
研究分担者	宇野 隆 (Uno Takashi) (30302540)	千葉大学・大学院医学研究院・教授 (12501)	

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	鈴木 修 (Suzuki Osamu) (30644778)	大阪大学・医学系研究科・招へい教員 (14401)	
研究分担者	伊丹 純 (Itami Jun) (40505377)	国立研究開発法人国立がん研究センター・中央病院・科長 (82606)	
研究分担者	原田 英幸 (Harada Hideyuki) (60599801)	静岡県立静岡がんセンター（研究所）・その他部局等・研究員 (83802)	
研究分担者	石川 仁 (Ishikawa Hitoshi) (70344918)	国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構・QST病院・副病院長（定常） (82502)	
研究分担者	山下 英臣 (Yamashita Hideomi) (70447407)	東京大学・医学部附属病院・講師 (12601)	
研究分担者	唐澤 克之 (Karasawa Katsuyuki) (80177617)	東京都立駒込病院（臨床研究室）・放射線診療科（治療部）・部長 (82685)	
研究分担者	松尾 幸憲 (Matsuo Yukinori) (80456897)	京都大学・医学研究科・准教授 (14301)	
研究分担者	馬屋原 博 (Mayahara Hiroshi) (80546135)	神戸大学・医学研究科・医学研究員 (14501)	

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	小久保 雅樹 (Kokubo Masaki) (90283605)	地方独立行政法人神戸市民病院機構神戸市立医療センター中央市民病院（第1診療部、第2診療部、第3診療部・中央市民病院・部長 (84519)	
研究分担者	木村 智樹 (Kimura Tomoki) (90379876)	高知大学・教育研究部医療学系臨床医学部門・教授 (16401)	
研究分担者	淡河 悦代 (Ogo Etsuoyo) (20204729)	久留米大学・大学病院・教授 (37104)	
研究分担者	生島 仁史 (Ikushima Hitoshi) (90202861)	徳島大学・大学院医歯薬学研究部（医学域）・教授 (16101)	
研究分担者	斉藤 アンネ優子 (Saito Anne Yuko) (30348916)	順天堂大学・医学部・准教授 (32620)	
研究分担者	吉武 忠正 (Yoshitake Tadamasa) (40452750)	九州大学・大学病院・講師 (17102)	
研究分担者	高山 賢二 (Takayama Kenji) (10396260)	京都大学・医学研究科・助教 (14301)	削除：2019年9月17日
研究分担者	大賀 才路 (Oga Saiji) (90380427)	九州大学・大学病院・助教 (17102)	

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	野宮 琢磨 (Nomiya Takuma) (60436201)	地方独立行政法人神奈川県立病院機構神奈川県立がんセンター（臨床研究所）・その他部局等・部長 (82713)	
研究分担者	加藤 徳雄 (Kato Norio) (80572495)	北海道大学・大学病院・助教 (10101)	

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究協力者	小宮山 貴史 (Komiya Takafumi) (40324206)	山梨大学・大学院総合研究部・講師 (13501)	
研究協力者	伊藤 慶 (Ito Kei) (30771703)	東京都立駒込病院（臨床研究室）・放射線診療科（治療部）・医員 (82685)	
研究協力者	稲葉 浩二 (Inaba Koji) (00604646)	国立研究開発法人国立がん研究センター・中央病院・医員 (82606)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関			
オーストラリア	Peter MacCallum Cancer Centre			
ドイツ	University of Munich			
カナダ	London Regional Cancer Program	Sunny brook Health Sciences Centre	University of Toronto	

共同研究相手国	相手方研究機関			
米国	Penn State Cancer Institute	Icahn School of Medicine at Mount Sinai	UH Seidman cancer center	他5機関